

ソ連知事団視察報告

昭和45年5月28日～6月9日

有志知事事務局

目 次

<u>5月28日(木)</u>	1
ソ連知事団到着	
<u>5月29日(金)</u>	1
(1) 東京都知事会見、(2) 通産大臣会見	
(3) NHK放送センター訪問	
(4) 心身障害者福祉センター訪問	
<u>5月30日(土)</u>	8
(1) 六義園訪問、(2) 浅草訪問	
(3) 有志知事主催歓迎晩さん会	
<u>5月31日(日)</u>	9
(1) 二条城訪問、(2) 金閣寺訪問	
(3) 平安神宮訪問	
<u>6月 1日(月)</u>	10
(1) 敦賀市役所訪問	
(2) 日本原子力発電 KK 敦賀発電所訪問	
(3) 記者会見	
(4) 福井県知事主催晩さん会	
<u>6月 2日(火)</u>	20
(1) 気比神宮表敬	
(2) 大阪府庁訪問	
(3) 日立造船堺工場見学	
(4) 大阪城見学	

(5) 大阪府知事主催晩さん会（大阪コクサイホテル）	
<u>6月 3日（水）</u>	25
(1) ソ連館訪問、(2) 日本館訪問、(3) アメリカ館訪問	
(4) 記者会見、(5) ソ連政府代表招待パーティ	
(6) ブルガリア館訪問、(7) チョコスロバキア館訪問	
(8) キューバ館訪問、(9) フランス館訪問	
(10) テーマ館訪問、(11) エキスニランド訪問	
(12) 古河館訪問、(13) ラテナマジカ訪問	
<u>6月 4日（木）</u>	34
(1) 地方自治体館訪問、(2) 電気通信館訪問、	
(3) 日本庭園訪問、(4) 盆栽水石展会場訪問、	
(5) 万博協会主催昼食会（迎賓館）	
(6) 英国館訪問、(7) カナダ館訪問、(8) みどり館訪問	
(9) 松下館訪問、(10) 三菱未来館訪問	
(11) 知事会主催晩さん会（大閣園）	
<u>6月 5日（金）</u>	39
(1) 岐阜県庁訪問	
(2) 日立製作所岐阜工場訪問	
(3) カワボウ・テキスチャードKK蘇原工場訪問	
(4) 鶉飼観覧	
<u>6月 6日（土）</u>	47
(1) 愛知県庁訪問	
(2) トヨタ自動車工業KK訪問	
(3) 発起人知事主催歓送晩さん会（箱根・富士屋ホテル）	

<u>6月 7日 (日)</u>	55
<u>6月 8日 (月)</u>	58
(1) 外務大臣会見	
(2) 記者会見	
<u>6月 9日 (火)</u>	59
ソ連知事団帰国	
[付] ソ連知事団名簿.....	60

5月28日（水）

ソ連知事団到着

午後4時ソ連知事団を乗せたソ連船バイカル号が横浜港大棧橋に横づけされた。当日はあいにく政府招集の全国知事会議が終日行なわれたため、知事の都合がつかず桑原愛知県知事（昭和44年夏訪ソ知事団団長）の代理として、岩瀬繁一愛知県副知事、宮内全国知事会事務局長、小川同渉外部長、および有志県知事代表の島根、岩手、山形、兵庫各県東京事務所長、またソ連大使館からチャソブニコフ参事官、ウグリノビッチ2等書記官、パノフ大使館員等が、船内の大広間に出迎え、歓迎の握手をした。神奈川県庁のあっせんでミス横浜から Cholnoi 団長に花束の贈呈が行なわれ、つづいて岩瀬愛知県副知事から、日本知事を代表してあいさつが行なわれた。

そのあと下船して、待機していた大型乗用車に分乗し、神奈川県警のパトカーの先導で一路東京の帝国ホテルへ向った。

この日は公式行事はなく、17階の食堂で夕食をたのしんだ。

5月29日（金）

(1) 東京都知事会見

午前11時から、都庁知事室で、チャソブニコフ参事官、宮内事務局長も列席して行なわれた。

会談内容はおおむね次のとおり。

美濃部知事 いつ来日されたか。

Cholnoi 知事 昨日来た。私個人として、又極東・東シベリア知事団を代表して、美濃部先生が会って下さったことをお礼したい。私は1968年12月に美濃部さんにお会いして、今回又お会いできて嬉しい。

ソ連側は、日本の全国知事会とソ連の知事会との交流を肯定的に見ている。このような二つの知事会の接触は、日ソ両国民の相互理解を促進するのに役立つと考えている。

ソ連の人びとは、美濃部先生が日ソ友好のために活躍されていることを嬉しく思っている。

われわれは、日本の人々の間で 1970 年の万博でソ連館が人気を博していることを嬉しく思う。

7 月のハバロフスクの見本市に参加されることを期待する。

美濃部知事 前に、この中で 2 人位お会したと思う。私は昨年忙しくて訪ソ知事団に参加できなかった。モスクワからも毎度招待を受けている。来年第 1 期の任期が切れるがその前に行きたい。できればシベリアの方も訪問したいと思っている。保守政党に囲まれていると仲々日本を離れられない。モスクワに行く途中で寄れたら訪問したい。

チョルヌイ知事 今は東京モスクワ直行便があるが、今度はモスクワからイルクーツク、ハバロフスクへ寄ってほしい。イルクーツクの知事は、美濃部先生に是非バイカル湖を見せたいと言っている。又イルクーツクから 25 分でブリヤート共和国に行ける。

美濃部知事 戦前モスクワからシベリア鉄道で旅行した際、汽車の窓からバイカル湖をちよっと見た。1934 年のことだ。

チョルヌイ知事 今は 3 昼夜と 6 時間で行かれる。

美濃部知事 シベリア鉄道は長かったが、窓から景色を眺めて仲々面白かった。

チョルヌイ知事 美濃部さんの仕事も、われわれの方も選挙できるもので、事情がよく理解できる。おいそがしいことはわかるが、是非モスクワに行った際はシベリアと極東の地方にも来てほしい。私個人としても、又代表団としても、この次の選挙で美濃部さんが再選されることを希望する。

(2) 通産大臣会見

宮沢通産相　　パリから昨夜帰ったばかりだ。

チョルヌイ知事　　いそがしい日程をさいて頂いて会って頂き有難い。今回東京で開かれる日ソ知事懇談会では、日本の知事さんたちと、沿岸貿易を拡大することをやりたい。われわれは、沿岸貿易を拓げるために、品目のリストを拓げることがやっている。もちろんむずかしい点色々あるが、両側が誠意をもって努力すれば、困難を克服する見通しは明るいと思う。もちろん日本側が希望する新しい品目を入れるには時間がかかる。同時にわれわれは、伝統的な品目対日輸出を拡大できる。

われわれが財界から聞いたことは、品物をもっと買うことにはライセンスが問題だ。沿岸貿易拡大には両国の必要を調べねばならない。

前回の全国知事会との会合の際にも提起されたが、日本の日本海沿岸にダリイントルグの支部を設置する問題がある。われわれの考えでは、ダリイントルグの支部を置けば沿岸貿易に役立つと思う。

運輸の問題については、たとえば港湾の問題をとってみても非常に難しく解決するのに時間がかかる。木材は、河と海と両方を通じて運ぶことができるので、木材を河港から直接日本へ持って行くことを検討している。

われわれは、閣下が沿岸貿易の発展のために昼力されることを期待したい。

宮沢通産相　　沿岸貿易が発展するのは結構である。日本としても欲しいものがあれば買いたい。

日本海沿岸の府県は太平洋沿岸より遅れているので、ソ連と結びつこうとすることはもっともだと思う。

バラエティが出てくればもっと額がふえるだろうと思う。

チヨルヌイ知事 4カ月で600万ドルになった。

1965年の5カ年の協定の手紙では、1970年に2,000万ドルにするという数字がでている。今年はこれを是非達成したい。

宮沢通産相 万国博覧会をごらんになるか。自分はまだ見てない。

チヨルヌイ知事 日本の知事会は立派な日程をつくって下さった。万博を2日間見ることにしている。

宮沢通産相 昨夜ストックホルムから帰ってきた。日本は人間が多くて落ち着かない所だ。
(12時08分通産省発)

(3) NHK 放送センター訪問

1時55分NHK放送センター着

管理局木下氏玄間に出迎え。2階550A室へ案内される。両側の相互紹介ののち下記の説明が行なわれた。(通訳はアジア部チーフディレクター一岡本正己氏)

技術本部副本部長 駒井又二氏

日本では公共放送と商業放送とがある。公共放送のNHKは東京に本部があり、ここから10キロ離れた所に番組をつくる所がある。放送しているのは中波2つのネットワーク、テレビ2つのネットワークなど。全国が8つに区分され、行政区画により45の地区に分れている。番組は、全国共通のものは東京でつくられる。又、その地域だけでつくられるものがある。

全体に放送できるように中継局がたくさんある。全体では4月末現在で1000箇所テレビの電波を発射する基地がある。日本は地形が複雑なので全国の世帯に見せるためには細かい措置が必要だ。ラジオ放送は160箇所

から電波を出している。地方局はそれぞれ番組をつくるため2~3のテレビのスタジオとラジオのスタジオ2つを持っている。東京の放送センターが一番大きい。

管理局次長 織田俊策氏

ニュースと国際放送は内幸町の方でやっている。そのほかは、ほとんど全部ここで製作されている。4年後に23階建のビルと4,000人の人が入るオーディトリウムとをつくる予定だ。

NHKがつくる番組の85%はここでつくっている。テレビのスタジオ20のうち10がカラー、ラジオのスタジオは23ある。1週間に850~900本の番組がつくられる(ラジオとテレビを合わせ)。コンピューターで制御している。テレビの大きいスタジオは360坪、1,200平方メートル、ラジオのスタジオでは800平方メートルのものが大きい。

見学者がこの間1,000万人突破した。1日8,000~10,000人の見学者がある。1年ほど前ミコヤン氏が来られた。4月2日にはチェコ大統領ズボボダ、4月4日ウ・タント国連事務総長、1昨日エチオピアの皇帝を迎えた。来月モスクワの放送関係の偉い方が来ることになっている。

国際局次長 櫛部和夫氏

NHKは日本の唯一の国際放送を行なう機関である。短波で18の方向に向け、1日37時間放送している。23種類の言葉で行なっており、ロシア語放送は1日1時間2回である。(チョルヌイ知事発言「トランジスターできいている。」)

37時間の放送の外に、外国の放送機関に提供したり国内の番組なども外国の放送機関と交換している。ソ連との番組交換も行なっている。NHK特派員もモスクワにいる。

モスクワ放送の特派員も東京にいる。

ついで次の質疑応答が行なわれた。

⑩ 日本の全人口に対する割合は？

⑪ 96%位だ。

⑫ NHK は日本で最大のラジオ、テレビ企業体か？

⑬ 規模としては全体で 1,400 箇所テレビ中継局のうち 1,000 局は NHK だ。財政規模では年間収入は 2 億 2,000 万ドル、商業放送の合計が 5 億 5,000 万ドルとなっている。 (2 時 30 分終了)

スタジオ見学

大型のシンフォニーの演奏などをやるスタジオ (CR509) やドラマを行なうスタジオ (CT105) などを見学した。又全世界からレコードを集めたレコード室 (レコード 22 万枚、楽譜 10 万) を巡覧した。

(3 時 7 分 NHK 発)

(4) 心身障害者福祉センター訪問

15 時 30 分福祉センター着。原田政美所長はじめ職員約 30 名が玄関で出むかえた。所長の先導で訓練している所を見た。

「生活動作訓練室」ついで「盲幼児指導室」(盲の人は、子供は盲学校へ入れる。男は職業訓練所に入れる。女は家庭の仕事をさせて、覚えたら家庭に帰す。)を見る。

⑭ これは国立か。

⑮ 都立だ、

近く、義肢、義足の研究所をつくることになっている。この点では最も進んでいるソ連から学んで、まねをしつつある。

次に「職種別職能判定室」(足の悪い人、耳の遠い人などを判定する)、それから「職能指導室」(学校は出たがうまくいなくて入っている。知

恵の遅れた人。技術でなく、人とのつきあいが悪くて入る人が多い。)

問 同様の施設が他にもあるか？

答 国立がいくつもある。

「精神機能訓練室」では口がいの裂けた子供、知恵の遅れた子供などを訓練している。ついで地下へ下りてレントゲン室、染色体検査室（遺伝を調べる）、電気生理検査室（耳の聞こえない赤ちゃんを調べて補聴器をつける。どの程度の音がきこえるか調べる。）、運動浴室（＝プール）、をみてから、山下清のはり絵を大きくした壁を鑑賞する。

次に結婚相談室を訪れる。ここには400人位の申込者があり、ここで縁談がまとまった人の結婚式的时候は、美濃部知事が必ずきてくれるそうである。

問 ここを出た人の就職は私企業か。

答 一般的には私企業だ。ただ公務員はできるだけ障害者を採用するという法律がある。

休 憩

チョルヌイ知事

ソ連では永い間、一貫して特別に研究している。義肢、義手を特別につくったり、全部無料でやっている。

所 長

今までは英語で勉強していたが、若い人は直接ソ連の資料を知るため、ロシア語を勉強する人がふえている。私自身、盲人の脳波をうまく訓練した人は眼のように見えるようになるということをソ連の論文で読んだ。

東京都の都民で、目、耳、体、手足、頭の障害を持つ人、赤ちゃん、老人、結婚、職業まで相談に応ずる。又職員が出張して相談もする。

職員は160名いるが、何人かはソ連の欠陥学研究所に見学に行っている。

近く知事と会うので、日ソ両国のこの面の協力、情報の交換を拡げたいと思う。われわれの仕事は文明から見放された不幸な人々のための高尚な仕事だと思ふ。

毎日 40～50 人が新しく来る。去年は 3 万人あつかった。

問 子供はどれ位の割合を占めるか。

答 子供は 3 分の 1 位だ。

問 寄宿する人は？

答 いま 50 人。来年は 100 人にふえる。

問 働いている人は医者が多いか。

答 医者でなく、リハビリテーション関係の専門家で大学を出た人（教育関係）が多い。160 人のうち 5 人が常勤の医者で 30 人が非常勤の医者だ。

問 所長さんは何を専門にしているか。

答 眼科だ。それから盲のことに入っていた。

問 ロシア語の文献を自らよまれるのか？

答 大学の中にロシア語のできる知人が何人かいてその人に訳してもらった。

（4 時 25 分バスで出発）

5 月 30 日（土）

(1) 六義園訪問

午後 2 時 45 分バスで六義園着。

六義園管理事務所長田中 潔氏の案内で園内を一巡した。この公園は 18 世紀のはじめにできたもので面積 10 ヘクタール。一巡したところで吹上茶屋で小憩して茶菓を提供した。 3 時 35 分六義園発。

(2) 浅草訪問

午後 3 時 58 分浅草雷門前着。

台東区役所 区民部長松本光好氏、浅草観光連盟会長小林総介氏などの外、芸者 4 人が出むかえた。浅草仲見世を通過して浅草観音に行く途中、江戸趣味小玩具「助六」の店に立寄って興味を示した。

浅草観音では、黒田亮文氏から説明を聞いた。

(3) 有志知事主催歓迎晩さん会

午後 7 時から帝国ホテル亀の間で盛大に開かれた。

出席者は、ソ連側知事一行全員、日本側出席知事は、青森、岩手、山形、福島、新潟、山梨、兵庫、香川、大分の各知事、北海道（三枝）、愛知（岩瀬）、山口（岸本）の各副知事。このほか、日本海沿岸貿易促進議員懇談会から稲葉 修代議員（会長）、桜内義雄代議員、ソ連大使館からトロヤノフスキー大使、チャソブニコフ参事官、デニソフ一等書記官、ウグリノビッチ二等書記官、パノフ氏等が出席した。 午後 8 時 45 分終了

5 月 31 日（日）

(1) 二条城訪問

午後 1 時 30 分都ホテル発。ガイド嬢の輪形さんの説明をききながら午後 2 時二条城着。二条城は将軍家康が京都滞在中の居所として建てたもので、1868 年の明治維新の際、臨時政府がここにおかれ、明治天皇が幕府制度を廃止する勅令を発したのもここであった。建造物は国宝に指定され、構内の面積は 28 ヘクタールでお堀にとりかこまれている。一行は、荘大な建物を一巡してから一番高い天守閣あとにのぼって四方の見晴しを楽しんだのち、美しい庭を通過して外に出た。 2 時 40 分発。

(2) 金閣寺訪問

午後 3 時金閣寺着。三代将軍足利義満が 1394 年に建てたもの。ここに、丁度偶然アルジェリア大統領一行（国賓）が来ていた。

3 時 20 分発。

(3) 平安神宮訪問

午後 3 時 40 分平安神宮着。この神宮は、桓武天皇による京都設立 1,100 周年を記念して 1895 年に建立されたもの。鳥居、門や本殿は、いずれも朱色など派手な色をぬってある。

神官の裏手につづく庭園を鑑賞した。

しだれざくらが有名である。アメリカの観光客が沢山きていた。池の石の置き方に工夫がなされている等説明を受けた。橋の上で少憩した。

4 時 20 分平安神宮発 4 時 25 分ホテル帰着。

6 月 1 日（日）

10 時 12 分、一行が敦賀駅に着いたとき、ホームでは福井県知事、敦賀市長、市会議長、県会議員それに先発のデニソフ一等書記館らが出迎え、県の職員がソ連知事団の全員に花束を捧げた。

(1) 敦賀市役所訪問

午前 10 時 25 分敦賀市役所着。玄関に日ソ両国の国旗が掲げられていた。直ちに市長室へ通される。

チョルヌイ知事あいさつ

敬愛する知事、市長殿。中川知事とは 1 回だけでなく再びお会いすることになった。昨年はハバロフスクで矢部さんと会った。またこの港に光られ

て大へん嬉しい。

日本とソ連との知事の接触と交流が深まったことを高く評価している。この接触は伝統的になったといえる。われわれの相互理解を促進する上で役立つと思う。今日福井県と敦賀にきて、盛大なお出迎えを頂き感謝する。御地の今後のご発展を心からおいのりする。

矢部敦賀市長あいさつ

数少ない訪問先の中に敦賀を入れて頂き、6万市民あげて歓迎申しあげる。ハバロフスクを訪問した際非常なご歓待を頂き感謝申しあげる。

元気なお姿を拝見し嬉しく思っている。

昔からソ連と交易のある敦賀も、貿易を再開して、発展ませて行きたい。敦賀をお忘れなく、愛して頂きたい。敦賀港については後程御説明申しあげたい。

(ここでチョルヌイ知事は、若い鹿のツノを贈る。)

中川福井県知事あいさつ

お礼は晩さん会のと看差し上げる。

昨年ハバロフスクに行ったときは、チョルヌイ氏からアムール川の話がたくさん聞いた。イルクーツクに行ったときは、バイカル湖とブラーツクの大発電所を見た。飛行機からタイガ(針葉樹林帯)を見せて頂いた。それからモスクワに行って会議に出た。そのとき、来年7月にハバロフスクの沿岸貿易見本市をやりたいと言ったところ、チョルヌイさんの努力で今年見本市を開くことができることになった。

今年万国博のとき、ネステロフさんが来られた際もこのことについてお願いした。日本海沿岸県では今一生懸命準備を進めている。私もこの開会式に参列したいと思う。7月11日にレセプションを開く予定にしている。是非その際参加したい。

新しい提案として知事をお願いしたいのは、光年、敦賀で友好親善経済

交流を推進するため、ソ連極東地方見本市を敦賀で開いてほしい。そうすれば、日本の国も福井県も敦賀市も、みんなで準備を進めたい。

次に敦賀港について。この港は 1899 年に日本の 4 大重要港湾の 1 つに指定されている（横浜、神戸、下関、敦賀）。3 年後（1902 年）にウラジオストックとの間に航路が開かれた。1907 年に定期航路（週 1 回）が開設された。1926 年ソ連領事館が敦賀に開設された。そののち 1946 年まで 20 年間ソ連の領事館が置かれた。敦賀の都合がよいことは資料のうらに書いてある。大阪へ汽車で 2 時間、200 キロ以下。名古屋へ 1 時間 50 分、東京へ新幹線で 3 時間半。5 年後に高速自動車道路が完成すれば、大阪から自動車で 2 時間でこれる。日本海側で中央に位している。経済が発展しているので今年 8 月から小樽との間にフェリーが通ることになっている。

船の写真があるが、敦賀は日本海側で一番良い地の利を得ている。今でもナホトカ・敦賀間が定期航路以上に盛んだ。入る船のほとんどがソ連船だ。われわれはこの港を大型化・近代化するために工事を進めている。

昨年訪ソしたとき、姉妹都市として古い友達のウラジオストックについて度々申しあげた。ところがウラジオストックは軍事上重要を港湾で、商港として発展する見通しが立たない。そこで今年の年明けから、日ソ経済交流委員会るとき、ウランゲル港が具体化してきた。できるのは 3 年後なので、今おなかの中にいる。おなかの中にいる赤ちゃんが生まれたとき結婚して頂きたい。それを考えているので、チョルヌイ氏はじめ沿海地方のパラキン知事のお力添えを願いたい。ぶしつけですが、以上三つのお願いをしたい。

チョルヌイ知事あいさつ

わたしたち知事団全員は、沿岸貿易を発展させる上で大いに努力したい。見本市もおもしろい提案だ。帰国したらこの提案を全ソ商業会議所と検

討する。

新しいウランゲル港をつくることになった。現在、ウランゲルはお母さんのおなかにいる。敦賀という言葉は意味として男を意味するのか女を意味するのか。ウランゲルは男だ。

(バラキン沿海地方知事いわく。ウランゲルに姉妹関係を提案した最初の市であるので、優先権がある。)

(中川知事いわく。ソ連の海員ホールを寄付したいと思っている。)

中川知事が説明されたように、敦賀の自然的位置は合理的だ。経済関係の発展にもよい。中川知事は先を見通しておられる。

(10時05分終了)

巡視船「とがち」の上での説明

(高木港湾貿易課長)

市長に代りご説明する。敦賀港は東シベリア・極東地方ともっとも近い。ナホトカ・敦賀間は船で30時間で着く。ナホトカ・横浜間899カイリ、54時間より近い。港の施設としては、向い側に見えるのが敦賀港のメインバースで、6,000トン級の船が接岸できる。あの船のうらに3バースあり、4,000トン級2隻、2,000トン級2隻が同時に接岸できる。年間100万トンの荷役ができる。倉庫は20ある。灯台の向うに新しいふ頭を作っている。工事中のところはフェリー(敦賀・小樽間フェリー)が発着する。こっち側に5万トン級の船がつけることになる。

ソ連からどんな大きな船を持ってきても受け入れる用意がある。

(中川知事)

敦賀は50万トンの船の入れる港でもつくることができる。今は2万トンが限度だが、ウランゲル港ができるころには5万トンの船が入れようになる。この港は2,000年前からある古い港である。

これから見学される原子力発電所は営業としてははじめてのもので、3

月 14 日に正式発電をはじめた。京都、大阪、神戸の電力需要は、いまに全部福井県でまかなうようになるだろう。

(2) 日本原子力発電 KK 敦賀発電所訪問

12 時に発電所のある岸壁につき、直ちにバスに乗り、12 時 05 分発電所の PR 館に着く。

野本所長代理説明

「この発電所は本年 3 月に完成、出力 33 万 1,000 キコワットで、東海発電所(イギリス型コールドター)に続く第 2 番目の原子力発電所である。これは沸とう水型発電所である。敷地は約 200 万平方メートルある。27 万 5,000 ボルトで大阪へ送っている。原子炉は岩盤の上に乗せるようにした。地上の高さ 46 メートル、直径 38 メートル、地下は 13 メートル。燃料は赤いしるしの所にある。」

① 問 淡水で冷却しているか。

② 答 海水でやっている。

③ 問 何人働いているか。

④ 答 約 200 人だ。

0 時 55 分説明を終わって食堂を去り、隣接の展示室へ案内された。1 時 10 分バスにて出発(中川知事同乗)。発電所の視察を行なう。工事は 4 年かかった等の説明をきく。1 時 20 分視察を終りバスで PR 館にもどって記者会見にのぞんだ。

(3) 記者会見 (PR 館)

① 問 敦賀記者クラブを代表して 2、3 質問したい。

敦賀、福井県を訪問した感想は？

② 答 (チョルヌイ知事) 盛大な観迎を受けて喜んでいる。そしてわれわ

れがこの町にきて見学させて頂き、暖く迎えられたことは、今後市、県とソ連との関係が発展するあかしだと思う。又知事の中川さんは、親切にこの県の経済発展、とくに敦賀の経済発展の展望についてこまかく話して下さった。そして県の指導者、市の指導者のご協力により、この町、この県とソビエトとの交流の発展は更に続くものと考えてる。

われわれは、とくに敦賀港の施設を見学してきた。敦賀港の今後の発展の見通しについてご説明をきいた。又巡視船で敦賀港を見てきた。そして私たちは原子力発電所の設備を親切に案内していただいた。

⑩ ウランゲル港開港に伴う日本の技術援助等について

答 (バラキン知事) われわれの州は、ウラジボストック、ナホトカなど海の町が発展するためには港が発展せねばならぬ。それらの発展につれて、国内の商業、交通も発展してくる。ウラヴゲル港も将来発展の見込が大きい。最近モスクワで、ウランゲル港開発共同計画が協定され、ウランゲル港開発に関する日本側の協力が話し合われた。将来は大きな港になる予定だ。この港の建設の終了のあかつきには、日ソ貿易がもっと大きくなると考えられている。

⑪ 中川知事がけさ、見本市開催について話したが、実現の見通しは？

答 (チョルヌイ知事) すでに市役所で会ったとき中川氏に申し上げたように、非常に興味がある。国に帰ったら更に検討すると申し上げた。共同の見本市開催は、両国間の貿易を発展させる上で良いところみである。こういった見本市は、両方の側の商品を研究することを促進すると思う。この点に肯定的な側面があると思う。だから、昨年全国知事会から知事団が訪ソされた際その中に中川知事がおられ、来年ハバロフスクで見本市を開催することを提案されたが、今年見本市が開かれることとなった。

⑫ 日本と沿海州との交流と、日ソ対岸貿易の見通しは？

⑧ (チョルヌイ知事) まず沿岸貿易の発展は、日本側と同じように、ソ連も関心を持ち、利害関係がある。現在ダリイントルグは日本の70以上の商社と取引関係を持っている。それらの商社は、日本の沿岸の諸都市にある。ソ連側の沿岸貿易に参加しているのは東シベリアと極東の全域である。そしてわれわれは沿岸貿易が発展するように貨易の商品をふやすように努力している。もし両方が沿岸貿易発展のため努力すれば、近い将来発展すると思う。われわれが日本へ来たのも貿易を促進する目的を持っている。訪日して、5月30日に日本の知事と懇談会を持った。日ソ貿易の促進の方策について色々はなし合った。

(以 上)

午後2時県警パトカーの先導で、観光バス(デラックス)で出発。女性ガイドの説明をききながら観光ルートを南下した。左側は日本海のすばらしい眺めだった。ガイドが、カチューシヤの歌、いっちょうらい節などを歌って一行を喜ばせた。

途中、つるが富士、東洋紡敦賀工場、大ゴルフ場などを車窓から眺め、三方五湖(くぐち湖、ひるが湖、水月湖など)を鑑賞したのち、午後4時30分、宿舎で晩さん会場の敦賀観光ホテルに到着、小憩した。

(4) 福井県知事主催晩さん会

午後6時45分から敦賀観光ホテル大宴会場で行なわれた。

主な出席者は、ソ連側は、金沢へ行ったバラキン沿海地方知事とフェジャイノフ随員をのぞく全員。日本側は中川知事、矢部市長、笠羽県会議長、友田県商工労働部長、敦賀商工会議所会頭、県会議員3人、敦賀市議長、川端敦賀市助役、田波県秘書課長、田中通訳(市職員)。

中川知事あいさつ

本日、ソ連知事団の皆様をお迎えして、レセプションを開くにあたって一言ごあいさつ申し上げます。

昨年7月には私を含めて日本知事団が貴国からの御招待を受け、手厚いおもてなしにあずかり、貴国の経済その他多くのことについて学ぶ機会を与えられたことを深く感謝申し上げます。

それから約1年、わが国の万国博開催を機会に団長チョルヌイ氏をはじめ、昨年お近づきにたられた各位と、こうして親しく懇談する時間をもち得たことは、私の心から喜びとするところであります。

本日は、日本海における対岸貿易の玄関である敦賀港を十分御視察戴くとともに、日本有数の一大電力県である本県の代表的原子力発電所も御覧願った次第であります。因みに、本発電所が動き始めた最初の電力で、万博会場の灯し火が点ぜられ、会期中、この原子の火が万博会場を照し続けるわけであります。

また、福井県の全海岸はすべて国定公園に指定され、景観の美しさでは、これまたわが国有数のもので、この敦賀から南に続く若狭湾一帯の観光客は年毎に増加し、昨年中には約600万人が訪れております。本日御覧戴いたレインボーラインもその中の一部で、県が有料道路として開発したもので、いくらかでも各位の旅情を慰め得たならば幸いと存じます。

なおまた、敦賀港については機会ある毎に貴国の関係ある方々にお話して参りましたが、関西、中京両経済圏から最も近い距離にあり、しかも貴国のナホトカ港とも最短距離の位置を占めており、古くから貴国との人と物資の交流に重要な役割を果して参っております。

最近、鉄道、道路の相次ぐ改良により、敦賀港の果す役割は見直されるようになり、今後貴国との交流、親善の増進に対する敦賀港への期待は高まりつつあり、それに伴う港湾改良計画は目下進行中で、貴国側からの御

要望を満足させる日も、左程遠いことでないと確信いたしております。

さて、今回当地に各位をお招き申し上げたのも、貴国との親善友好を深め、日本海を挟んでの両国を中心とした人類の平和と幸福の増進が心からの願いであり、その目的のために行なわれる貿易或いは人間の交流が、両国国民の利益を確保し、押し進める手段として有効なものとして、今後それが更に発展することを願ってのものであり、その意味で既に知り合った仲である各位の御理解、御協力を一段と高めたい考えからであります。

私は、その意味において、昨年7月には、モスクワで、第2回ハバロフスク見本市の開催を提案し、幸いにして各位らの御協力を得て、本年7月開催の実現を見た次第であります。私もその折には、余程の事情がない限り再びハバロフスクを訪問する予定であります。

本日は、十分各位を満足させる程の御馳走もございませんが、ゆっくりお召上り戴きながら、その間いろいろと愉快地話し合う時間を持ちたいと思いますので、ゆったりした御気分でお越しになることをお願いしてごあいさつといたします。

以上であいさつを終わったが、なお次のことをつけ加えた。

ウランゲル港についてはバラキン知事のおひざもとであるので覚えておいてほしい。おくりものとして、本県は世界一の織物の産地であるので、奥さまの洋服ができるきれが入れてあるのでお持ち帰り願いたい。

矢部市長あいさつ

ハバロフスク地方のチョルヌイ知事を団長とするソ連知事団において頂いて親しく発電所、観光施設をごらん頂き、将来の両国のきずなが更に深まったものと喜んでい。中川知事の敦賀市役所での提案である来年度の敦賀の見本市開催と、ウランゲルとの姉妹都市提携は市長としてもとくに皆様をお願いしたい。とくにウランゲル港の開発に大きな期待を寄せている。コンテナ港の基地として大きな役割を演じたい。将来の計画に対処し

て道路、港湾を整備したい。

チヨルヌイ知事あいさつ

尊敬する中川知事、尊敬する敦賀市長、市議会と県議会の皆さん。代表団の全員は敦賀につくと同時に大きな歓迎を頂き感激している。港や原子力発電所視察に中川知事が同行されて感激した。私たちは、皆さまの友情や友好を要求する良い意思が、形式的なものでなく心から出ているものとする。かような関係はわれわれを喜ばせるのみでない。われわれは友情と相互理解を深める友情の使節としてこちらへ参った。もちろんプラトニック・ラブは良いが、経済に基礎を置く友情はもっとよいと思う。というのは、われわれがこちらへ来ていっそう経済関係を強化しようと考えているからだ。ソ連側も、経済・貿易の発展に関心を持っている。そして今日、知事はすでに日本とソ連との友好関係を発展させる希望を表明された。両方の期待と希望は必ずや今後発展を促すと確信している。個人として、又ソ連代表団全員の名で感謝したい。又われわれの堅い期待を表明したい。貿易関係もさらに発展するように。

皆さん全部に、仕事の成功と、健康と、家族の皆さんの幸福をお祈りしたい。

(ついで、チチヨルヌイ知事がソ連側各知事を紹介したあと、商工部長の音頭で乾杯して、食事に入った。ソ連の知事たちがそろって「モスクワ郊外の夕」を合唱したのが印象的であった。とくに中川知事が美声で色色な歌を歌ったのがソ連側に深い感銘を与えた。さいごに次のようなあいさつを以て終了した。)

チヨルヌイ知事

今日は暖くむかえられて大変ありがたく思う。こういうことは今日だけ

でなく、敦賀でもハバロフスクでも何回も続くことをいのる。

中川知事

本日はありがとう。極東の古い友人がはじめて敦賀に来られたのだが、田舎のこととて行きとどかず失礼した。どうか敦賀を胸の奥深く思い出として元気でお帰り願いたい。

(午後 9 時 05 分晩さん会終了)

6 月 2 日 (火)

午前 8 時 20 分乗用車でホテル発。警察のパトカー 2 台が前後についた。旅館の女中 6 人が見送った。

(1) 気比神宮表敬

8 時 25 分気比神宮着。神官及び 4 人の巫女が出むかえた。中川知事は、港と神社は日本海沿岸でここが一番であると説明した。

8 時 50 分国鉄敦賀駅着。内田駅長の案内でホームの乗り場につくと、市役所職員の楽団がロシア民謡「黒いひとみ」を演奏してソ連知事団を喜ばせた。頭上にはロシア語で「スチャスリーボボ・プーチ」(道中御無事で)と書いた大きな掲看板がつるされていた。見送り人の中には、知事、市長その他のほか、日ソ協会の家倉金之助氏が含まれていた。

(2) 大阪府庁訪問

11 時 05 分大阪駅着。大阪府儀典長、万博ソ連館の幹部が出迎えた。
11 時 10 分大阪駅発。パトカー 1 台が先導した。11 時 25 分府庁着。正面玄関に大きな日ソ両国国旗が掲げられていた。すぐ 3 階の知事室へ案内された。

佐藤知事あいさつ

一番たくさん見物人が入るのはソ連館だ。お世辞でなく、外から一番目立つ。もしわたしが文句を言うとしたら、皆ソ連館に行きたがって行列が大へんだ。

チョルヌイ知事あいさつ

東シベリア・極東の知事を代表して、わたしたちに会見する時間をみつけて下さったことを感謝する。

われわれは、今大阪の万博にたくさんのお客さんが来ることを知っている。ソ連館も日本館もまだ見ていないが、汽車の中からソ連館を見た。いま行列の長いことを聞いたが、誇りに思っている。これは、もちろん、日ソ両国の関係を促進し、友好を深めることに役立つことと思う。

佐藤知事

とくに今年はレーニン生誕百年祭で、ソ連が生れて 52 年目になるそうでお祝い申し上げる。わたしどもは、ソ連が子供を非常に大事にしていることに感銘している。

しばらく歓談ののち、チョルヌイ知事からレコードが贈物としてわたされた。佐藤知事は、「私の孫に音楽の好きな人間がいる。チャイコフスキーが好きなのでこの孫に渡したい。」と語った。又宇宙飛行士の話などとした。

(12 時府庁発)

(3) 日立造船堺工場見学

2 時 55 分工場着。事務所の玄関に日ソ両国の国旗が立ててあった。2 階の貴賓室に案内される。

堺工場長 湯口 俊一氏説明

本日は当工場において頂き感謝申しあげる。当社はソ連とは関係が深い。

まぐろ漁船をソ連に輸出している。(お茶をすすめながら) 日立造船全体を紹介する。当社は 1881 年の創立で、来年で 90 年になる。本社は大阪にあり、東京に支社がある。造船所が六つある。製品は、船と陸上の機械で、両者の比率は売上げで船 65%、陸が 35%。陸上部門では製鉄用機械、鉄鋼では橋、煙突、水門などをつくっている。船はここと広島県の因島と、東京の近くに修繕と水中翼船をやっている所がある。

次に当工場について説明する。(図を示しつつ) この工場は 4 年前に完成した (1966 年 4 月)。20 万トンタンカーを最も能率よくつくるために考えられたものである。現在 1 年に 20 万トンのタンカー 5 隻つくれる。現在までに 19 隻、300 万トン完成している。その中 70% が輸出で 30% が国内向けである。敷地は 83 万平方メートル。働いている人間の数は 3,500 人。

工程について説明すると、まず鋼材の陸上げ。鋼材のストックヤードに運ぶ。鉄板のサビを落とす。ペンキを塗る。鉄板を切る。ブロックは 100 ~ 180 トンの重さだ。人の手を省くため、電子計算機でやらせる。200 トンのクレーンでドックの回りに並べる。30 万トンドックで建造する。200 トンのクレーン 2 台を使う。つねに 1 隻半のっているようにする (セミタンデムシステム)。ドックは長さ 400 メートル、幅 60 メートル、深さ 12.5 メートル。2 カ月半に 1 隻つくる。船体ができたらここへ持ってくる。そして艀装する (残りの工事を行なう)。全部で 8 カ月で完成する (2 カ月半、2 カ月半、3 カ月の 3 段階)。

2 号ドックは 40 万トンドックで、長さ 380 メートル、幅 62 メートル、深さ 12.5 メートル。このドックは主として修繕に使う。68 年に完成した。

今 20 万トンのタンカーが建造中、もう一つの 20 万トンタンカーも建造をはじめている。オナシス向けのものだ。今オナシス向けの 4 番目の船を建造中だ。ここにあるのが 5 番目だ。同じく 20 万トンの日本船の修繕を行なっている。

以上で説明を終って、一行は保税工場を見学した。視察中、ソ連知事の質問に答えて次のような説明がなされた。

20 万トンの船の値段は 70 億円位である。従業員の平均給料は 7 万円とちょっとである。 (4 時 10 分発、パトカー先導)

(4) 大阪城見学

午後 5 時 07 分大阪城着。大阪城天守閣主任秋山進午氏の案内、説明で天守閣を見学する。

秋山天守閣主任の説明（要旨）

大阪城は 17 世紀にできた。堀が二重に廻らしてある。大阪城の区域はお堀までで、現在は公園として指定されている。海拔 80 メートル、天守閣は地面から 50 メートルある。 (5 時 45 分大阪城発)

(5) 大阪府知事主催晩さん会

午後 7 時から、大阪コクサイホテルでディナー形式で行なわれた。チョルヌイ知事は、「佐藤知事が再選されてソ連に来てくれることを祈る。いまは万博でお忙しいことがよくわかる。」などと語り、佐藤知事は「日立造船のあたりは土地を造成したものだ」などと話した。さいごに次のようなあいさつが行なわれた。

佐藤知事あいさつ

このたびソビエト連邦知事団ご一行をお迎えし、歓迎晩さん会を開催い

たしましたところ、遠路のご旅行でお疲れにもかかわらずご出席賜わりましたことは私の最も光栄かつ欣快とするところであります。

ご承知のとおり、日本万国博覧会が「人類の進歩と調和」のテーマのもと、アジアで初めて開催され、参加国も貴国をはじめとして、史上最高の77か国を数えましたことは、開催地の知事といたして誠に喜ばしく感謝にたえない次第であります。

貴国パビリオンの白と赤のコントラストあざやかに空高くそびえる雄姿は、貴国のご発展の姿を力強く象徴するものであり、また展示内容も貴国の歴史と文化、国民生活、シベリア地方の総合開発、すばらしい宇宙開発等を中心にして、たえず躍進する貴国の国務を強く示されており、貴国館のテーマであります「人間と自然の調和」に全くふさわしいものであり、貴国館を訪れる世界各国の多くの人々に深い感銘と親しみを与えるものと確信いたします。

貴国とわが国との関係は、日ソ貿易協定、日ソ航空協定等の成立により、貿易、文化、芸術等広い分野にわたりその交流が年々盛況をみておりますことは誠にご同慶に存じます。

ご来訪賜われました当大阪は日本文化発祥の地であるとともに商工業の中心地であり、とくに海外貿易の要衝としてわが国産業経済の上に重要な地位を占めているのでありまして、本日ご視察いただきました本府の代表的産業施設を通じまして当大阪の産業の一端をご理解いただければ幸いに存じます。

終りにのぞみ杯をあげて貴国のご隆盛と皆様方のご健勝およびこのご旅行が快適に過されますようお祈りいたしまして歓迎のごあいさつといたします。

チヨルヌイ知事あいさつ

尊敬する知事閣下、まず、私個人から、又知事団を代表して、暖いお言

葉をいただいたことを感謝する。万国博のソ連館に対する知事の高い評価に感動している。今回訪日した、東シベリア・極東のソ連の知事は、日本の全国知事会に招待されてきたものであるが、唯一つの目的を持っている。それは日ソの友好、文化、経済関係を発展させるという目的である。これは高貴な目的だと思うし、労をとるかいがあると思う。われわれは訪日の期間中、日本の知事、市長のみなさんと会って、話してきたが、日本の側でも関心を持っていることを知った。実際、たがいの友好を深めることは両国民の福祉に貢献すると思う。これは両国民の友好だけでなく、平和の確保に役立つと思う。最後にお礼を述べたい。非常にお忙しい中を歓迎晩さん会を開いて下さったことに対し感謝する。

なお、この晩さん会の主な出席者は知事のほか、府側から中田参事、河島主幹、ソ連側からゴルフキン政府代表代理、フェドトフ儀典部長であった。

6月3日（水）

午前8時40分ホテル発。9時10分万博会場（万博協会本部）着。村上地方自治体館副館長、総務部長、万博協会儀典松本氏、エスコートガイド林さん（ロシア語通訳）、富士さん等が出迎えた。マイクロバスにのりかえて9時17分出発。ロシア語の万博視察日程が配布された。

(1) ソ連館訪問

9時25分ソ連館着。A・I・ゴロフキン政府第一副代表、フェドトフ・レオニード儀典部長ら幹部が出迎えた。ソビエト国歌が演奏された。入口近くはレーニンに関する展示が多かった。それに続いて青少年に関する展示にも満足した。二階では、民芸家の実演による木彫（手工芸品）を見

た。3階にエスカレーターで上り、そこでイルクーツク州のチェレムホフ炭田、サフロノフスキー採掘場の大パノラマを見た。この炭田は埋蔵量6,890万トン、年産390万トンである。それから極東の保養地シマコフカの模型に感心した。とくに大きな感銘を受けたのは何とんでも大型ロケットをいくつも展示してある広場であった。ドッキングした宇宙船の巨大さに心をうばわれた。又、非常に大きな壁面にうつされた映画（ソビエト国民の生活を示すもの）にも感心した。その他、文化関係では、チャイコフスキー、チェホフ、トルストイ、ドストエフスキーなどの遺品も興味深く見た。

(10時08分発)

(2) 日本館訪問

10時13分日本館着。日本館事務局長古畑銀之助氏及び制服姿のホステス5人が出むかえた。まず貴賓室へ案内され、少憩し、説明をきいたのち各知事がサインしてから展示の視察に向かった。

(10時41分日本館発)

(3) アメリカ館訪問

10時45分アメリカ館着。まず10人の写真家の写真展を一覧してから奥へ進んだ。最も興味を引いたのは何とんでもアポロ8号司令船（実物）、月に着陸したアポロ11号月着陸船の実物大模型、そしてガラス器に入れられた月の石であった。案内・説明をしたのは男性のライト氏及び女性のキャロル・タッグさんであった。

(11時12分発)

(4) 記者会見（プレスセンター）

11時15分プレスセンター着。23分から記者会見が行なわれた。司会は政府代表代理シェフチェンコ氏、通訳は広報部長アンチーピン氏（日本

語がずばぬけて上手な人)であった。まず知事たちの紹介ののち、チョルヌイ団長から次のあいさつがあった。

チョルヌイ知事あいさつ

われわれは、日本の全国知事会に招待されて日本に来た。われわれはこの2年間に3回きている。つまりソ連の各州執行委員会の長がきたのが3回目である。1,968年東京を訪問した。去年7月日本知事団がソ連にきた。第3回目が今回である。5月3日東京で日本の知事と会談したとき、2つの議題を持っていた。

1. 沿岸貿易の発展
2. 日ソ関係の発展

その話が行なわれたとき、沿岸貿易の発展に良い基礎ができていることに意見がまとまった。沿岸貿易は良く発展している。将来のためのよい基礎ができている。日本の70以上の商業関係の会社が参加している。うまくいっている。もちろん沿岸貿易の中では困難な問題がある。その中でうまくできる基礎ができていると思う。

文化交流について提案したが、日本側もよく理解している。われわれは、沿岸貿易と文化交流の発展が、州と県との関係、将来の良い関係の発展にいい影響を与えらると思う。

質 疑 応 答

① (日 経)

シベリア開発について話合いが行なわれたようだが、どのような分野で、又日本からの資本、技術の導入についてはどう考えているか。

② シベリア開発は地下資源を豊富に使うことが基礎になる。林業の開発でも大きな活動をしている。新しい工場の建設も力強く進められている。日本とソ連の両国の話合いのもとに、シベリアの開発に日本の機械がた

くさん入っている。又、木材の輸出高をふやしている。木材の化学的加工も発展している。鉄鋼などの工業もだんだん発展している。現在シベリアでは新しい都市の建設、コンビナートの建設がすすめられている。皆様ご存知のとおり、今年日本の経済使節団がきた。石油や天然ガスを日本に輸出する問題も討議された。お互のシベリア開発に対する意見が一致することを希望する。ご存知のとおり、ナホトカの奥に、ウランゲルを作ることになっている。港の設計を日本側がやることになっている。

⑩ (共同通信)

エキスポランドが日程の中に入っている理由は何か。

⑪ ⑫ われわれはエキスポランドがどんなものか知らない。万博協会では是非これを入れたいというのが見ることになった。

⑬ (毎日)

サハリンには昔たくさん日本人がいた。サハリンに行きたい日本人がたくさんいる。サハリンを極東・シベリアの観光ルートにのせることはできないか。

⑭ ⑮ サハリンへは、一定の日本人のグループは行っている。私の考えでは、全世界から万博にくる人の方が多い。サハリンより万博に行きたがっている。極東の観光施設としては現在でもハバロフスク、イルクーツク、ナホトカのコースが大いに利用されている。われわれは日本からくるお客を暖く歓迎しているつもりだ。ソビエト国民の日常生活を見せているつもりだ。

⑯ (ノーボスチ通信)

来日して日本の知事と会っておられるがその結果をどう評価しているか。

⑰ ⑱ まず、5月30日東京での交渉はためになった。われわれは今日最も解決すべき問題を交渉している。沿岸貿易を促進する方法を討議した。

交渉が行なわれた段階では、一定の日本の知事から、文化交流、スポーツマンの交換などをもっとさかんにすべきだとの意見が出された。われわれも同じ考えだ。われわれの意見が一致していることは間違いない。

⑩ (工業新聞)

シベリア開発について、2月の日ソ経済委員会でもとりあげられたが、ソ連側では、日本の経済界にどういうことを希望するのか。

⑪ 両国に利益のある協力の仕方が基礎になければならぬ。日本側が参加しないからシベリアが発展しないとの考え方はあやまりだ。1970年に終る5か年計画で、シベリアに入れている力は大へん大きい。独自の力をもって発展させたいと考えている。日本側も何か協力できることがあればうまくいくのではないかと思う。ウランゲル港問題とか林業の面で日本の協力を得ている。しかし、日本を中心としてシベリアの開発をしようというのではない。あくまで独自の力でやろうとしている。

日本の知事とソ連の知事との接触が多くなってきた。今年の7月ハバロフスクで見本市が開かれる。万博のような大きなものではないが、見本市は経済的にみて大きな可能性をもっている。そういう見本市をやる場合、日本のいろいろの知事がくる。それによってもう一度意見の交換ができる。

(11時55分記者会見終了)

記者会見のあと休憩室で小松海外広報部長らと歓談した。

(12時15分プレスセンター発。)

(5) ソ連政府代表招待パーティ (レストラン "モスクワ")

12時17分ソ連館着。直ちに2階のレセプション会場に案内され、パーティがはじまった。

チヨルヌイ知事あいさつ

シベリア・極東の州代表団として日本の知事会から招待を受け、ここにいることは幸せである。われわれは日本の知事会の招待で日本へ来て意見の交換をしたこと、正式な交渉ができたことをありがたく思っている。ソ連の州知事と日本の知事とが会って話をし意見の交換を行なうことは、両国の相互理解を一層深めることに役立つと思う。東京での会合の際、日本側とソ連側とは、このような接触を一層広げなければならないということに意見が一致した。われわれはすでに1週間日本にきている。そして暖いおもてなしを受けている。そのような暖いおもてなしに対し、日本の知事各位ならびにここにおられる皆様にお礼申しあげたい。われわれの関係がなお深まることを希望する。皆さんの健康のため乾杯したい。

田中大阪府副知事あいさつ

本日は、かくも素晴らしいレセプションへお招きにあずかりまして誠にありがとうございます。

“人類の進歩と調和”のテーマのもとアジアで初めて開かれましたこの万国博覧会も開会以来ますます盛況をみせており、入場者も2,300万人を越えましたことは、地元の関係者といたしまして大変喜ばしく感謝にたえない次第であります。

また、貴国パピリオンの白と赤のコントラストあざやかに空高くそびえる雄姿は、貴国ご発展の姿を象徴するものであり、展示内容も、たえず躍進する貴国の国勢を強く示されており、貴国館を訪れる世界各国の多くの人々に深い感銘を与えるものと確信いたす次第であります。

ソ連邦知事団の皆様方には、本日および明日と2日間にわたり万博会場を親しくご視察されると承っておりますが、日本万国博覧会の意義を十分にお汲みとりいただけることと存じます。

これを契機としまして、貴国とわが国との親善友好関係がますます深ま

ることを願ひまして、はなはだ簡単ではございますが、お礼のごあいさつ
といたします。

ありがとうございました。

ついでバンドの演奏（4人）が行なわれた。「モスクワの郊外にて」その
他有名な民謡などが奏せられた。また美しい女性歌手が独唱、又もう1人の
女性の独唱があり、「カリンカ」その他を非常な美声で歌い、ソ連知事たち
の旅情を大いになぐさめるとともに、日ソ友好のふんいきをいやがおうに高
めた。なお、このレセプションへの出席者は次のとおりである。

ソ連政府代表招待パーティ日本側出席者

（レストラン“モスクワ”）

- 大 阪 府 田 中 副 知 事
 万 博 協 力 局 長
 同 次 長
- 大 阪 市 中 尾 助 役
 万 博 協 力 部 長
 他 2 名
- 万 博 協 会 平 井 次 長
 外 事 部 長
 他 4 名
- パビリオン代表 日 本 館 古 畑 事 務 局 長
 他 1 名
- 知 事 会 宮 内 事 務 局 長
 他 4 名

（ソ連側出席者は、ゴロフキン政府代表、フエドトフ儀典部長はじめ100名近くいた。）

(6) ブルガリア館訪問

午後 1 時 50 分ブルガリア館着。アンゲロフ館長（政府代表代理）が出迎え案内した。少年合唱団の映画などが感銘を与えた。

(7) チェコスロバキア館訪問

2 時 24 分チェコスロバキア館着。政府代表及びホステス 2 人が案内した。ガラスで作った作品などが目を引いた。一覧したあと少憩し、チェコ産ビールの接待を受けた。 (2 時 56 分 チェコ館発)

(8) キューバ館訪問

3 時 02 分キューバ館着。政府代表が出迎えた。一巡したあと休憩し、キューバ産アルコール飲料の接待を受けた（女性 2 人がサービスする）。
3 時 27 分キューバ館を出た。

(9) フランス館訪問

3 時 34 分フランス館着。女の儀典長が出迎えた。大きな世界地図の中でフランス語を話す地域を電光で示してフランス語圏の勢力を誇示してあるところや、世界最初の超音速旅客機コンコルドの大模型、若い女性たちの立体写真などに、フランス人の誇りや芸術的感覚が感じられた。

3 時 55 分館を出て、別の棟の展示を少し見た。他の一般観客が多いためか、案内が適切を欠いたためか、一行がバラバラになった。

4 時 15 分フランス館前を出発。

(10) テーマ館訪問

4 時 18 分テーマ館到着。エスカレーターで 5 階の上まで上る。久米、阪口の両ホステス（緑色の服を着用）が案内した。 4 時 48 分バスで出発。

(11) エキスポランド訪問

4時52分エキスポランド着。まず「ダイダラザウルス」に乗り、次に「宇宙ステーション」に乗った。

このあと5時43分にソ連館に着き、ソ連知事団のみレストランモスクワで夕食。日本人随行者は近くのブルガリア館食堂で夕食をとった。7時24分ソ連館前をバスで出発。ソ連館幹部、通訳のパンチェンコ氏なども同乗。

(12) 古河館訪問

7時28分古河館到着。次のような説明をきく。「これは8世紀につくられた奈良の東大寺にあったものを模造したもの。実物は600年前になくなった。万博会場の中央に位置していて展望がよくきく。これからエレベーター2台で上にあがって頂く。下の部分が展示室になっている。さいごにミュージカル・コーナーを見て頂く。」出発の際副館長の西村氏が見送った。

(13) ラテナマジカ（チェコスロバキア国立劇場）

7時50分ラテナマジカ着。

映画、演劇、バレエ、パントマイムのコンビネーションによるめずらしいショーを見た。「ダンスの中の恋人」（女3人、男2人が出演）その他が上演された。8時47分ラテナマジカ発。

8時55分万博本部から大阪バスで万博会場発。

9時26分宿舎の大阪コクサイホテルに着いた。

6月4日（木）

午前8時52分バスで出発（パト・カー先導）。

バスの中でバスガイドが次のような説明を行なった。「この道路は阪神高速道路で料金は300円。大阪は水の都といわれるが、大阪の高速道路は7割が川の上に作られている。この道路は時計の針のようにグルグル回っている。大阪市の人口は330万である。あれば野球場だ。（何人入れるかとの問に対して）6万人入れる。このあたりは「南」で、あれは西本願寺の京都別院だ。又このあたりは「北」と呼んで大きな歓楽街で映画館などが沢山ある。

日本最大の湖、琵琶湖から唯一つ淀川が流れ出ている。長さ79キロ、大阪市民は皆淀川の水をのんでいる。この水は飲料と工業用水と両方に使われている。又大阪は煙の都ともいわれ、スモッグ地帯になっている。あの大きいのがガスタンクである。左側にみえるのが大阪国際空港で昨年2月空港ビルが完成した。工費は73億円だった。 9時40分万博協会前着。

(1) 地方自治体館訪問

9時50分自治体館着。ホステス5人が出迎えた。2階の応接室に通される。村上副館長より、連絡事項としてこのあと電気通信館で、自宅へ国際電話をかけていただくことになっているとの通知をする。ハバロフスクの奥さんへのいいおくりものだとの発言あり。チョルヌイ氏は「モスクワ・ハバロフスク間は回路が多いからすぐつながるだろう。今ハバロフスクは午前11時だ。」などと語った。

宮内自治体館々長発言

もう5億かければもう少し立派なものできたと思う。この館は、日本の46都道府県と沖縄、500の市と3,000の町村が一体となって作った

ものだ。現在 5 万内外の入場者があり、苦しい嬉しさがある。開館時に心配したことは、入場者が何人あるかということだった。もし少ないとしかられる。

佐藤大阪府知事発言

たくさんの市長と知事の意見をまとめるのは容易でない。皆で金、力を出し合う相談を宮内さんの所でやってもらった。3月14日には彼は嬉しそうに顔をしていた。

チヨルヌイ知事発言

実際の話をつけることは難しい。討論があったことと思うが、討論を通じて良いものができたと思う。宮内氏はバスの中で、万博のために頭がうすくなったと言われたが、今拝見すると髪が黒くなっている。

10時15分応接室発、展示館に入る。左藤知事、宮内館長が案内、説明を行なった。万博協会のエスコートガイド林さん、ソ連館のジュードロ氏、日ソ親善協会の堀江氏が通訳した。

主として観察したのは、氏族時代、奈良時代、戦国時代の民衆の生活、キリスト教が入ってきた時代の村長の家、徳川時代の民衆の家、当時の交通、土木事業の模様、明治時代、二条城でみた大政奉還の模様、福沢諭吉、ハイカラになった風俗、普通選挙法公布の状況、太平洋戦争、原爆、民選知事の知事会議、終戦直後の住民の生活（25年前の生活）、水がないので風呂のかわりに行水している写真などであった。

ついでエレベーターで上へあがって各県の花を配置してある所をみる。花の上部に円型のスクリーンにスライドが次々に写されるのをべっ見した。次に「20年後のあなたの地域」というタイトルで壁面いっぱいには日本の巨大な地図に20年後の予想図が示されているのを見た。館外へ出て、千葉県の日催し（地元の伝統的なおどりや歌）を望見した。

佐藤知事、ホステス 8 人が見送る中を 10 時 38 分一行をのせたマイクロバスは自治体館前を出発した。

(2) 電気通信館訪問

10 時 41 分電気通信館着。業務課長の諏訪氏が出迎えて案内した。同館の田淵（女性）さんも同行して説明された。東京・大阪・京都の三元テレビ放送（生放送）を見る。技術展示室で少憩。ここでチョルヌイ氏がハバロフスクへ電話をかけた。又そこで色々な使い方ができる新電話サービス、ワイヤレステレホン（相互電話）をためしてみた。

なお、一行にはソ連館儀典長レオニード氏、同館広報担当パンチェンコ氏、同館行政官セミョーノフ氏も加わっていた。

① このワイヤレステレホンを呼び出すことができるか？

② そうだ。これは相互電話である。

11 時 23 分電気通信館発。ホステス 3 人、男子職員 4 人が見送った。

(3) 日本庭園（茶室）訪問

11 時 26 分日本庭園着。園内を歩いて、11 時 38 分茶室「汎庵」についた。武者小路千家の流派である。和服姿の女性 3 人が実演した。一行は長いすに腰かけて見物した。一行のために、3 人（男 1 人、女 3 人）がお菓子とお茶を配った。茶室に入った一行は総勢 27 人に達し超満員となった（うちロシヤ人随員 7 人、府庁職員 1 人、万博協会ホステス 1 人、日本庭園ホステス 2 人）。宮内局長は、これだけの茶室は 1 坪 200 万円位するだろう。これは京都風の建築である。などと説明した。なお次のような問がソ連知事側からなされた。

① この茶室は昔のままの形をしているか。

② そうだ。ただ冷暖房をしてある点が違っている。

問 部屋の大きさは決っているか。

答 大体きまっている。

問 お茶だけに使用するのか。

答 お茶だけだ。

問 誰も住んでいないのか。

答 誰も住んでいない。

0時02分茶室「汎庵」を出る。

(4) 盆栽水石展会場訪問

0時07分日本庭園内の盆栽水石展会場（日本盆栽協会）に徒歩で到着。橋本所長及び鈴木課長から案内、説明を受けた。ホステスの足立、清水両嬢がアテンドした。

樹令180年の盆栽、さらに300年のものまであり、訪問者を感心させた。

(5) 万博協会主催昼食会（迎賓館）

一行は徒歩にて、日本庭園の一隅にある迎賓館に0時17分に到着した。万博協会を代表して、平井事務次長が玄関に出迎えた。ロビーで少憩したのち、奥の昼食会場へ案内され、0時25分からレセプションがはじまった。とくに改まったあいさつはなく、ビュッフエ形式であった。ソ連館の幹部職員がかなり参加していた。1時38分迎賓館発。

(6) 英国館訪問

1時42分英国館着。儀典係のトニー・ウイルソン氏及びジャネット・ハンター嬢（日本女性なみの小柄な英国ホステス）の案内で館内を見物した。

とくに一行が立ちどまって感銘を深くしたのは、世界最初の万国博（1851年）、凍結法による海水脱塩装置、英国の風景をうつした映画等であった。一巡して少憩ののち、2時29分英国館を出た。

(7) カナダ館訪問

2時33分カナダ館着。2階の応接室にとおされて茶菓（清涼飲料等）の接待を受ける。このとき一行にソ連政府代表が参加した。館内の4つの仮設劇場でカナダに関する映画を鑑賞した。北方に位置して広漠たる国土と豊かな地下資源と少ない人口を持つカナダの中に、かれらは自国との共通性を感じたようである。

ビジット・オフィサーのウィリアム・ソーセル氏その他2人の見送りを受けながら、3時22分カナダ館を出発した。

(8) みどり館訪問

3時26分みどり館到着。館長浅井義人氏の出むかえ、案内のもとに、天井いっぱい天井いっぱいに映画がうつるアストロラマを觀賞する。シネラマ12台を使ってある。上映時間は16分間。装置の新奇さに心をうばわれた。上映された映画の内容自体には理解に苦しんだようである。

3時43分、浅井館長に見送られてみどり館を去った。

(9) 松下館訪問

3時52分松下館着。ただちに館長が出迎えて館内視察に入った。

2,000年に開くという球（タイムカプセル）の展示が圧巻だった。

そのあと茶席でお点前を鑑賞した。それから日本の庭（滝などもしつらえてある。）をみた。竹林をとおって外へ出た。外は雨がふりはじめていた。

4時22分松下館発。

(10) 三菱未来館訪問

4時27分三菱未来館着。ホステス12人（白いドレスで、胸の所だけ赤くしてある。）が出迎えた。エスカレーターで、つぎつぎに、「日本の自然」、「自然の驚異」、「日本の空」（台風）、「日本の海」（海洋開発）を鑑賞した。そのあと休憩して、コカコーラを飲みながら副館長の鈴木博氏等と歓談した。さいごに館長の田中忠平氏があいさつを行なった。

ホステス9人に見送られながら、5時01分三菱未来館を出発した。

5時05分万博本部着。もとの大型バスに乗りかえて5時08分、万博本部前発。

(11) 知事会主催晩さん会（大閘園）

6時03分大阪コクサイホテル発。バスの中にはソ連館の儀典長フエドトフ・レオニード氏、広報担当のパンチェンコ氏、技術担当のセミョーフ氏も同乗していた。6時13分大閘園着。

大閘園は藤田男爵の別荘のあとで、今は公園になっている。面積は約1万坪で、約50年前にできたものだそうである。宮内事務局長は、出席の大阪府知事室長の浅海浩氏をソ連知事団に紹介した。7時53分大閘園発。

6月5日（金）

午前8時30分バスでホテルを出発。8時45分新幹線の新大阪駅着。貴賓室で少憩した。駅には、大阪府から浅海知事室長、猪岡儀典長、ソ連館からゴルフキン政府代表代理その他が見送りに来ていた。駅長の福岡章氏の先導で、9時15分発の新幹線こだま号に乗車した。

10時13分、岐阜羽島駅着。下車して、待機していた県庁行きのバスに乗る。これには岐阜県警のパトカーがついていた。バスの中で、岐阜県参事の

和田氏が歓迎のあいさつを述べた。

(1) 岐阜県庁訪問

10時45分岐阜県庁着。平野知事が出迎えた。4階の特別会議室に案内される。各知事の着席場所にちゃんとロシア語の卓上札が置いてあるのが気持ちよかった。

平野知事あいさつ（要旨）

私もたびたびソ連に行った。岐阜県は日本のまん中に位置している。本県で産出する石は世界一の折紙がつけられている。（ついで県議会議長と総務部長を紹介した。）

坂井県議会議長あいさつ

岐阜県の議会を代表してごあいさつ申しあげる。ソ連知事各位は日ソ沿岸貿易、文化の交流等、日ソ親善のため来日されたわけであるが、このたびとくに本県にお出でいただいたことを感謝する。これを機会に日本と岐阜県のことを理解を深めていただき、日ソ関係の発展にお力添えをお願いしたい。お越しをいただいた皆様の健康をお祈りしてあいさつに代えさせていただきます。

チヨルヌイ知事あいさつ

尊敬する平野知事閣下。尊敬する議会議長。

われわれ代表団を代表して、岐阜県に招待されたことを感謝する。われわれ東シベリアと極東の議長の一団は、日本の知事会の招待により訪日した。われわれが来日した目的は、日本の知事の方々とともに日ソ文化交流について討議するためである。われわれは日ソ両国の知事の話合いが友好関係の促進に役立つと思う。平野知事は日ソ両国の関係を発展させる希望を述べられたが、この希望はわれわれの希望と一致する。更にいっそう発

展する見込みがあると思う。

又知事は、ソ連から大理石を買いたいという具体的なことを言われたが、われわれの大理石を売りたいという意向と一致する。この件については、くわしく検討して具体的な話合いを進めていきたい。今いっしょにいるソ連の知事団のメンバーを紹介したい。ピボバロフ首相、バラキン知事、クラフチェンコ知事、シエフツオフ知事、ドミトリエフ知事、フェジヤイノフ事務局長、ソ連大使館パノフ氏。

われわれ代表団は東シベリアと極東全域の知事である。日ソ関係をいっそう発展させたい願いを理解していただけると思う。

平野知事発言

石の問題を具体的にいうと、岐阜県には三つの大きな大理石の出る場所がある。会社としては安藤、矢橋、関ヶ原である。

チョルヌイ知事発言

平野知事に、われわれは更に三つの会社の事情、どんな大理石か、どんな風に加工しているのか、ブロックか板か、を知りたい。われわれの専門家にも検討させてみたい。

平野知事発言

前はイタリアから買っていたが、いまはスウェーデンから買っている。

チョルヌイ知事発言

スウェーデンは遠い。われわれは近い。いせ知事がここで、大理石の購入量、種類を話すのは難しいと思うので、滞在している間に業者の代表と話したい。一言いっておくが、近く沿岸貿易の中で大理石は大きな品目になるだろう。岐阜県から希望が出されたので、大理石の輸出入についてはスムーズに行くだろうと思う。沿海地方では、大理石の発掘のための地質の調査が行なわれている。いろいろの大理石があり、種類も量も豊富である。

⑩ 日本ははじめてか。

◎ はじめての人もあるし、何回もきた人もある。

つづいて、チョルヌイ団長から知事と県議会議長におくりものが渡され、これに対し平野知事から贈物のちょうちんの見本を見せる。そしてかざつてある国旗（ソ連、日本、国連、岐阜県）を持ちあげて示した。

平野知事発言

日本の印象はどうか。

チョルヌイ知事発言

良い印象を受けた。われわれは大阪の万博を見たが、日本館、自治体館、各企業グループのパビリオンを見た。日本は国としても発展しているという印象を受けた。工業の発展ぶりなどを見ることができた。又日本の一般の人々がソ連館を訪れている様子を見た。記者会見もしたし、話や会談もした。今後いっそう日ソ両国の友好関係を発展させる大きな可能性がある。もちろん経済関係についてもそうである。又、東京では日本の知事の方々とも会見した。その方々と話し合っ、て、経済関係を発展させたいという点で一致している。

又、平野知事は、われわれが日本へ前に来たことがあるかと問われたが、はじめての人もあり何度もきた人もある。しかし、全国知事会会長の桑原氏、事務局長の宮内氏のおかげで、今度の旅行が特別良いような気がする。

ハバロフスクでは7月に日本商品見本市が開かれる。取引も相当行なわれる見込みである。県知事、市長、各商社の代表の到着を待っている。岐阜県からハバロフマクに出品するものがあれば歓迎したい。平野知事も都合がつけばお出で願いたい。

平野知事発言

岐阜県からは繊維製品を出すことにしている。私はあいにく行けないが、代りに県の幹部職員を派遣することにしている。

11時20分知事会見が終了し、11時23分バスで県庁をあとにした。

バスの中で、バスガイドが岐阜市について次のような説明をした。「この町は約 100 年前にできた。25 年前に戦争で灰になった。岐阜の町は繊維の町だ。婦人靴、紳士服などを多く作っている。名古屋の近くにあつてセンスのある町である。」

11 時 39 分岐阜会館着。6 階建てで、新築後 1 年たっていない。岐阜会館の 4 階で、11 時 45 分から昼食が行なわれた。0 時 58 分、冷房つきの快適なバスで岐阜会館を出発。社長の長谷川氏以下会館職員が見送った。

バスの中で、バスガイドが次の説明をした。「関市は昔日本刀をつくっていた所である。今はナイフ、フォーク、包丁などをつくっている。」

(2) 日立製作所岐阜工場訪問

午後 1 時 45 分、日立製作所岐阜工場着。本部の 2 階大広間へ案内され、^{やかた}家形工場長から次のような説明が行なわれた。

家形工場長説明

本日は遠いところをわざわざお出でいただき有難く思う。

日立製作所は全国に 33 の工場をもっている。従業員は 4 万人。生産額は年間 1,700 億円。この岐阜工場は一番新しい工場だ。生産品は白黒とカラーのテレビである。現在の生産能力は白黒 5 万台（月産）。カラーは 3 万台だが、今は 1~2 万台。この工場は昨年新設された。カラー工場は今年 4 月から生産を開始した。従業員は約 1,000 人。生産設備は日本で一番新しい。（説明のあと、おみやげとして電気かみそりを渡した。）

チョルヌイ知事あいさつ

今日あなたがたのテレビ工場を見せていただきありがとうございます。代表団は東シベリア、極東の地方（州）の議長で、サハリン州議長、チタ州議長、沿海地方議長、ブリヤート共和国首相、イルクーツク州議長、フェジヤイノフ事務局長、パノフ大使館員である。われわれは日本の知事会の招待で

来た。知事会の世話で各県、工場を見ている。今日われわれがここを訪問した記念にささやかな記念品をさしあげる。(ロシアの民芸品を贈る。)

⑩ どういう経済的観点からこの場所を選んだか。

⑪ 昨年カラーテレビの需要が多くなった。美濃加茂は交通の便利な工場だ。東名高速道路に近い。日本のほぼまん中にある。従業員を集めやすい。この近辺に大きな工場がない。

そのあと、工場のレイアウトの説明があり、白黒テレビ工場の面積が1万8,000平方メートル、食堂、寮(松林の環境のいい所)などを含め敷地21万平方メートルであることなどを聞く。

⑫ 下請工場があるか。

⑬ 協力工場がある。同じ位の従業員数だ。

⑭ テレビ工場は外にあるか。

⑮ 白黒テレビはここだけで、カラーは横浜とここで作っている。

⑯ 他にテレビを作っている会社があるか。

⑰ 三洋電機が近くにある。又東芝も余り遠くない所にある。

一行は引続いて工場視察を行なった(白黒テレビ工場及びカラーテレビ工場)。組立、検査などを見た。

2時25分日立製作所発。

(3) カワボウ・テキスチャード KK 蘇原工場訪問

3時15分カワボウ着。応接室で工場長の川久保元氏から次のあいさつがあった。(通訳は大田氏)。

川久保元工場長あいさつ

本日はわざわざソ連からおいで下さりありがとうございます。万博をご

らんになったあとなので、万博にくらべるとここは規模も小さい。ソ連にはこの会社からも大勢いっていて、日ソ親善には協力させていただいている。

問 1日に織物を何メートル生産しているか。

答 約1万メートル。

問 この工場はできてからどの位たつか。

答 約50年になる。(その他、従業員数、織物の種類についても質問があった。)

チヨルヌイ知事あいさつ

今日皆様の親切をお招きによりやって参ったが、われわれはソ連の東シベリア、極東の地方、州の議長で、イルクーツク州知事、ブリヤート共和国首相、サハリン州知事、沿海地方知事、チタ州知事、フェジヤイノフ事務局長、パノフ大使館員である。私は取締役の方から、ソ連と商取引をしていることを聞き嬉しく思う。われわれの今回の訪日の目的は、日ソ両国の経済、文化、友情を促進することである。われわれは、経済関係の発展は、両国間の友好関係の発展に貢献すると考える。今日皆様のお招きにより会社を見せていただき感謝する。日本とソ連の極東・シベリアとが一つの海で洗われ、結ばれているのだから、両方の国が、この海がいつも平穏であるよう努力せねばならぬと思う。われわれは大阪の万国博に行ったが、三菱館でわれわれの将来を見た。又いかに台風とたたかうかを見た。われわれも、どんな台風も日本海にないようにと念ずる。われわれは日本海の海上を平穏に航海できるように、象徴している品物を、今日記念のしるしに差しあげたい。(これに対して会社側から、当会社製のスポーツウエアーソ連用につくってある一が贈られた。)

問 ここでは糸からつくっているのか、それとも製品だけつくっているのか。

④ 原糸からつくっている。

⑤ あちこちに工場があるか。

⑥ カワボウというグループがある。7つある。

製品の展示を見たのち3時40分事務所を出て工場視察を行なった。騒音のはげしい工場であった。3時58分カワボウ発。川久保工場長、大田通訳らが見送った。帰りのバスの中ではガイドが鵜飼の説明をした。

4時30分グランドホテル着。

(4) 鵜 飼 観 覧

桑原知事会会長がホテルに迎えに来る。

岐阜市長からハッピーの贈物があり、5時56分ホテル発、5時58分岸壁につき、下車して鵜船「清流丸」に乗船した。

ソ連知事と同船した人は、桑原愛知県知事、平野岐阜県知事、坂井県議会議長、米野同副議長、河合総務部長、和田参事、高木岐阜市助役であった。6時03分鵜船が岸壁をはなれた。1キロ位上流までさかのぼったところで停船した。鵜船は他にも40隻位きていた。ソ連の知事は興にのって、ステンカラージンの歌などを合唱した。又各知事は船首のところで花火をして楽しんだ。8時に船が動きはじめた。

8時20分ごろ鵜飼の船が近付いてきた。ソ連の知事たちは又、「モスクワの郊外にて」やイタリア民謡などを歌った。と、鵜船6隻がいっせいに船べりをたたいた。「そうがらみ」と言うのだそうである。各鵜船がかがり火をたたいた。鵜匠の1人から説明をきいた。9時2,0分下船。再びバスに乗ってホテルに戻った。

6月6日（土）

8時22分、警察のパトカー2台（前と後）につきそわれてホテルを出発した。（愛知県庁まで岐阜県総務部長が同乗した。）バスの中では、ガイド嬢が美しい声で、ほほえみながら、鵜飼、日本人の服装（きもの）などについて説明し、又歌を歌ったが、とくにロシア民謡のカチューシャの歌が喜ばれた。県境を越えて愛知県庁に近づいたころ、総務部長が立って次のようにあいさつした。

河合総務部長あいさつ

岐阜県の工場や鵜飼を観覧いただき有難うございました。親しみ深いスラブ民族の方々にお会いしたことは永久に忘れられない。

(1) 愛知県庁訪問

9時20分愛知県庁着。直ちに知事室に案内された。

桑原知事 ようこそいらっしゃいました。昨年、貴国を訪問いたしました。折非常に感銘深い旅をさせていただいたことを感謝いたします。本県は、日本の中央に位置しており、……………（以下県勢の概略を説明）……………皆様の前に用意してあります本県を紹介する資料を御覧になっていただきたい。

チョルヌイ団長 尊敬する知事閣下並びにその他の方々。

私達が、日本国及びあなたの県を訪問することができたのは、非常を光栄であります。

5月末に日・ソ知事懇談会がもたれたのでありますが、そこでは今後いっそう両国間の沿岸貿易の発展と文化交流をはかることにつき話し合いました。今回の会合は、回を重ねて既に3回目であり、今や両国間の伝統的な催しものとなっております。

これらの会合は、両国の善隣関係を発展させるためにいちじるしい貢献をなしてきていると思います。

私達の今回の来日は、桑原知事が会長をしておられます全国知事会の御尽力で実現できたものであります。昨年は桑原知事が団長としてソ連に来られました。桑原知事始め、日本の知事の方々が、将来にわたる日ソ両国の友好関係の維持・強化のため努力されておられるということ ― このことを私達は今回の来月において、しみじみと感じている次第であります。知事団を代表し、衷心より感謝いたしたい。と同時に、私個人としても桑原知事に御礼を申し上げたい。

なお、桑原知事が昨年訪ソされた際の記念のアルバムを貴下に贈呈することをお許し願いたい。

(写真帳をみながら、しばしば思い出話等歓談あり。写真には、桑原会長がチホノフソ連副首相、ボロノフロシア共和国首相、パトリチェフ外国貿易相、ネステロフ全ソ商業会議所会頭などといっしょに写っている。)

- 10時35分ソ連知事団長 Cholnui 氏より桑原知事および岩瀬副知事へ土産品の贈呈があった。
- 桑原知事よりソ連側へ記念品（めいめい皿）の贈呈あり。

(しばし歓談)

- **Cholnui 団長** いただきました贈りものは、貴下とお会いした際のことをいつまでも思い出させてくれるよすがとなることでしょう。
- 桑原知事が立って、地図上に示しながら、県の概要を紹介する。
(地形、県の人口、名古屋の人口、名古屋港、湾、東海道新幹線、東名高速道路、トヨタ自工、繊維工場（日本の70%）、陶磁器（ノリタケチャイナ）、新日本製鉄等につき）
- ソ連側よりプレゼントについての説明あり。

(サモワールの用法、沿海地方の蜂蜜、イルクーツク州の薬用酒等につき)

歓談。又各知事は記念の署名を行なった。

- 9:54 写真撮影のため一同応接室へ移動
- 9:57 記念撮影終了
- **チョルヌイ団長** では、お別れのご挨拶をいたしたいが……………。
- **桑原知事** いや、私も皆様と箱根まで同道いたしますので、そのご心配には及びません。

今よりは、愛知県知事ではなく、全国知事会々長として参りたいので、よろしく願いたい。

(一同笑う。)

- 10:00 一同応接室を退出。

10時05分県庁前をバスで出発した。知事、副知事(岩瀬)が同乗した。トヨタ自工に向う車内では、ガイド嬢が車窓から見える景色(東山動物園、東名高速道路、地下鉄、東郷池、愛知用水、豊田市等)について説明を行なった。

(2) トヨタ自動車工業 KK 訪問

午前10時41分トヨタ着。全長石田退三氏、社長豊田英二氏の出迎えを受け、2階の貴賓室へ通された。

石田会長あいさつ

本日は、チョルヌイ知事閣下をはじめ、ソ連邦知事団のみなさまがた、ようこそおいでくださいました。

5月にも、貴国タラソフ自動車工業大臣閣下を団長とする大型自動車代表団のご来訪を受け、わが国自動車工業に対しまして、深いご理解をいた

だきましたことを、心からお礼申しあげます。

また私は、5年前貴国を訪問しました。

そのときはイルクーツクまで行きまして、ブラーツクの発電所も見学いたしました。厚いおもてなしをいただき、ここにあらためて、厚く御礼申しあげるしだいでございます。

のちほど工場をご案内いたしますが、簡単に当社の概要を、ご説明いたします。

トヨタ自動車は、豊田佐吉の発明いたしました自動織機から発展した企業集団すなわちトヨタグループの1つであります。このトヨタグループの各社は、それぞれの立場でトヨタ自動車の仕事を分担いたしております。

当社は1937年に創立され、現在年間売上高は約18億ルーブル、従業員は約3万8千名、現在建設中の工場を含めまして6つの工場を有しております。

昨年の生産台数は147万台、そのうち66%が乗用車でございます。また全生産台数の27%を輸出いたしております。

本日はこれらの工場のうち、エンジン工場と、乗用車組立工場をご覧いただく予定にいたしております。

どうか、時間の許すかぎり十分にご覧いただきますよう、お願い申しあげ、お礼と歓迎のごあいさついたします。

なお、先般自動車工業大臣がお出でいただいたとき、下さったバッジを私はいつもつけております。

チヨルヌイ知事あいさつ

尊敬する会長、代表者の皆様、ソ連知事団を代表してあなた方の工場を見学する機会を与えられたことをお礼申しあげる。

自動車工業相がきたときにお話したことと思うが、ソ連ではいま、自動車産業が大きく発展しようとしている。巨大な自動車工場が完成している。

次の5カ年には、引き続いて発展させたいと考えている。今日あなた方の工場を見ることに大きい関心を持っている。われわれの旅行中ついでくれた方々からも、あなた方の工場について道すがら話してくださった。

日本のことわざにもあるが、ロシアにもあることわざに「百聞は一見にしかず」というのがあるが、そのとおりだと思う。(続いて各知事及び随員を会社側に紹介したのち)

重ねて会長に、工場見学の機会を与えて下さったことを感謝する。

(そして、記念に、アルバム、民芸品一宝石箱一などを渡す。会社側から石田会長、豊田社長、花井専務(生産と営業担当)の順で自己紹介が行なわれた。)

(チヨルヌイ) 自動車工業相が見えたのは万博の際か。

(石田) そうだ(5月)。先年は副総理も見えた。

フィアット工場ができたなら招待するといっておられたが、そのときこれ(バッジ)をつけて来いといわれたので、ずっと永久につけるつもりだ。

(チヨルヌイ) トリアッチ市にイタリアのフィアット社と提携して大自動車工場を建設し、第4次計画の末に新製品を出す予定だ。全操業が始まるのは来年だ。そのときはトリアッチ市が大きな都市になる。自分たちの国産の力で乗用車とトラックの工場を作っている。もし会長がソ連に行く用意があれば、極東を通過してほしい。ハバロフスクでお目にかかりたい。立ち寄って下されば歓迎する。ハバロフスク市のバッジをさしあげる。これはハバロフスクだけでなく全極東の通行証だ。チタ州でも作られている。(チタ州の知事もバッジをつける。)

11時06分貴賓室を出て、11時10分本部前を出発した。

エンジン工場視察

11時20分上郷工場着。コロナマークⅡのエンジンをつくっている。
シリンダーブロック加工ライン、ピストン加工ライン（協力工場から半加工で送られたピストンの本加工）などを見た。

① 月給はどう決めているか。

② 勤続年数と技能と、その年その年の働きによって決まってくる。

③ 食事は無料か。

④ 無料ではないが非常に安くしてある。

（ついでエンジンストックを見た。）

⑤ 技師の数はどれ位か。

⑥ わずかだ。全部で10人位。この工場には専属のエンジニアはいない。

⑦ これらのエンジンにはトヨタ自動車だけで使っているのか。

⑧ そうだ。

11時42分エンジン工場発、11時52分本部に帰着。

貴賓室で少憩ののち、0時03分から1時05分まで別室で、会食が行なわれた。石田会長が訪ソの際、見てきた世界一のブラーツク発電所のことや、トヨタ製の自動車が零下20度のモスクワで日本大使館に利用されている話など歓談した。

組立工場（元町工場）視察

1時18分元町工場着。石田会長みずからが案内した。

この工場はコロナとクラウンとを最終組立てしている。艤装ライン（塗装を終えたボディに窓ガラス、電気配線、計器、サイドモールなどを取り付ける）、コロナ組立てライン（艤装を終えたコロナのボディに車軸、エンジン、タイヤなどが組み付けられ、車両として完成する）、組立室（ク

ラウンとコロナはここで組立てを終え、ガソリン、冷却水が入れられ、隣の調整検査室に入れられる)などを見て歩いた。

⑩ 1日何交代制か。

⑪ 2交代制だ。(その他の質疑応答が行なわれた。)

1時33分元町工場出発。石川会長、山本顧問が見送った。バトカー2台がついて、各神高速道路を、箱根に向けて一路疾走した。

(3) 発起人知事主催歓送晩さん会

歓送晩さん会は、6月6日午後6時30分から富士屋ホテルで行なわれた。日本側出席知事は桑原愛知県知事夫妻、田辺山梨県知事夫妻、安孫子山形県知事、津田神奈川県知事および亘新潟県知事。

ソ連大使館からデニソフ一等事記官夫妻が出席した。

7時18分本席に移動して着席した。舞台に日ソ両国旗がかざってあった。テーブルの上に盆栽がかざってあるのがよかった。

日ソ双方の代表が次のようなあいさつをした。

桑原愛知県知事あいさつ

尊敬するソ連知事団の皆様。同僚の知事各位。

今夕は、皆様お疲れのところ、かつ、ご遠路のところこのさよならパーティーにご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

日本は到る処自然の美に恵まれておりますが、特に当地箱根は、山紫水明の佳境として、四季を問わず内外観光客に満ちております。

この富士屋ホテルも、四囲の眺望を一つに集め、古くから有名であります。今夕この地この館に、ソ連知事団の皆様をお迎えして、杯を交わし、歓を尽して遠来の皆様と別れを惜しみますことは、永く思い出となり、意義あることと存するのであります。

さて私は、近頃耳にしたニュースに、深い喜びを感じたのであります。

その一つは、さる2月モスクワの東洋諸民族美術館で、日本の着物と扇の展覧会が開催され、金欄の花嫁衣装や竜村の西陣織や舞扇等が展示され、多くのソ連婦人は、その美しさに恍惚としたと報ぜられたことでもあります。

その二つは、最近ソ連の婦人の間に、日本の活花が盛んに行なわれ、ソ連婦人は自からの手で美を創造し、自然を愛する心を養い、花という共通の言葉を通じて、日本婦人との親善と理解を深めているというニュースであります。

貿易、観光、技術、芸術、人事の交流もまことに結構であります。真に両国民の心のつながりは、上述のようなむしろささやかを交流の積み重ねによってますます強固に培われてゆくものと存するのであります。

私どもは、貴国との友好を深め、両国国民の福祉の増進と世界の平和を念願いたしております。

このためご列席のソ連知事各位のご尽力を切にお願いいたす次第であります。重ねて皆様のご来訪をお待ちいたしますとともに、私どもの善意を国民の皆様にお伝えいただきたいと存じます。

チョルヌイ知事あしさつ（要旨）

尊敬する会長桑原知事閣下、田辺、亘、安孫子、津田知事の皆様。

あと2日すぎるとわれわれは日本をあとにして国に帰る。しかしわれわれは、率直に言うと、心の一部を日本に置いて帰りたい。

われわれは一度ならず日本の県知事の皆様とお会いしたが、公式と非公式とあったが、3年間の会合がわれわれを近づけたことは否めない。

われわれが全国知事会の親切な招待により来日するとき、われわれには一つの目的があった。それは日本との善隣友好、経済関係、文化関係を深めることだ。

実際、日本とわれわれを区切っているのは小さな日本海という海だけだ。地理的に一つの地域に住んでいる。

われわれの来日が、交流が、会談が、両国国民の福祉につながり、さらに大きな、高尚な、全世界の平和の小さな土台となるならば幸せだ。

同僚の知事を代表して、又個人として、知事の皆様にとくに桑原さんにいろいろやって頂いたことを心から感謝する。そしてわれわれの滞在中、われわれにできるだけ多くのものを見せ、旅が楽しくなるよう骨を折って下さったことを感謝する。

最後に私は皆様にお伝えしたい。日本でこのように暖く懇切に迎えて下さった皆様がソ連に来られるときは、ロシアの暖い歓迎をいたしたい。

小さな贈り物を各知事にいたしたい。これは北方の動物の民芸品だ。

(拍手)

そのあと、若葉会の舞踊団（西崎流）が蓄音機の音楽に合わせて踊りをおどった。宮城県の大漁節、山形県のまむろ川音頭（女3人）、春の海、会津磐梯山（女4人）などをおどった。 (9時半ごろ終了)

6月7日（日）

午前8時35分箱根富士屋ホテルをバスで出発。東京へ向った。ところが鎌倉の少し手前でバスが故障のため停止したので、ハイヤーに乗りかえ、予定より大分遅れて東京に着き予定を変更してソ連大使館に直行して昼食をとり、3時23分ソ連大使館を出て帝国ホテルに入った。ソ連知事は午後4時すぎに、鶴の間で開催中のハバロフスク会臨時総会に出席し、5時から引き続き亀の間で開かれた同会主催レセプションに出た。（主な出席者：安孫子山形県、木村福島県、中川福井県各知事、トロヤノフスキー大使、チャソブニコフ参事官、デニソフ一等書記官、ウグリノビッチ二等書記官）

6月8日（月）

(1) 外務大臣会見

予定を変更して、朝8時45分にホテルを出発してソ連大使館を訪問したのち、トロヤフスキー大使の車とともにパトカー先導により午前11時少し前に外務省に到着した。

11時から11時20分まで、大臣室にて、愛知外務大臣と、トロヤフスキー大使及び中尾欧亜局参事官立会いの下に、会見が行なわれた。

（会談内容は、随行者の入室禁止のため記録できなかった。）

会見のあと、エレベーターの乗力場まで大臣の見送りを受けた。

(2) 記者会見

午後1時半から帝国ホテル楠の間で、ソ連知事団の記者会見が行なわれた。まず宮内知事会事務局長から報告があった。

宮内事務局長説明（要旨）

今回ソ連の知事団は福井県に行き敦賀港を視察され、日本海沿崖の認識を深めたと思う。敦賀港は戦前ソ連のウラジオと関係をもっていた。現在ウラジオの近くにウランゲリ港が建設の予定で、敦賀市と姉妹提携を結びたいとの希望が県側から述べられ、ソ連側から、優先的に考慮されるだろうと言われた。日ソ知事懇談会では、山梨県から、大理石を買いたいとの希望が述べられた。岐阜県では、ハバロフスク見本市に出品すると言っていた。万博では16館を見学した。京都では二条城、金閣寺、平安神宮など、日本の国民の心のふるさつを見ていただいた。産業では、トヨタ自動車、日立造船などを見た。詳細な点は報告書にまとめて皆様に報告する。

日本に滞在中は日程がこんでいてお疲れのようだったが何の不満もなく旅行を終えられたことに感謝と敬意を表する。

チヨルヌイ知事

尊敬する新聞記者の皆様、共同コミュニケでござんのように、われわれは全国知事会のお招きにより来日した。そして日本の知事とソ連極東・シベリア議長との交流は3回目となった。最初の会合は1968年東京で、2回目はモスクワで、3回目は東京で、日ソ両国知事の会談が行なわれた。かくてわれわれの会合は伝統的なものとなった。日ソ両国の知事は友好関係を発展させること、又沿岸貿易をいっそう拡大させることについて討議した。又両国の文化関係を発展させる問題を相談した。文化交流の発展は資料の交換を念頭においている。交換の主なものとは両国民の生活を向上させるための資料の交換である。たとえば都市の組織、空気汚染、水の汚染を防ぐ問題、又医学の分野、子供の教育の分野での色々な資料の交換、映画フィルムとの交換、スポーツ選手団との交換、又その外色々な問題に関する相互交換を念頭においている。日ソ両国知事との会合の結果、共通の意見に達した。さまざまの関係をいっそう深めねばならないこと、友情をいっそう発展させること、沿岸貿易を発展させること。とくに沿岸貿易の貿易額が非常なテンポで増えるよう双方が努力せねばならぬ。

全国知事会は、われわれの来日の際の周到な計画をたててくれた。われわれの訪れた県ではどの都市でも暖め歓迎を受けた。われわれは、日ソ両国の関係を深めることが双方にとって有益だと思う。われわれ代表団は、外相、通産相、各県知事の引見をゆるされた。われわれは知事会に対し暖かい感謝を述べたい。

質 疑 応 答

① 訪日の印象はどうか

② 私は4回目の訪日だ。バラキン知事は3回目、ドミトリエフ知事は2回目、クラブチエンコ知事は2回目だ。もちろん10日間の短い滞在期間では、日本の心のふるさとを知ることはむずかしい。1回1

回の訪日が新しい知識を増やす。

今度の計画には、今までにないプログラムがあった。大阪、福井県にも行った。われわれは興味をもってトヨタの自動車工場を見た。カラーテレビ工場を見た。全国知事会は親切に、自然の美を鑑賞するためいろいろな計画をしてくれた。鵜飼も見た。われわれにとっては日本古来の伝統的な漁法の鵜飼がおもしろかった。又われわれは日本の庭園を見た。又菊花石を見た。

われわれは日本の勤労を愛する国民の心にふれた気がする。

問 ① ほめられたけれども、日本では交通、公害がとくにひどい。交通、公害について情報交換の提案をいわれたが。

答 ② 交通の問題について。前に来たときに比べ日本の道路建設が急ピッチで進んだようだ。空気汚染については、この前は余り気がつかなかった。私たちの所の空気の方が新鮮できれいに思われる。白本の問題がわれわれの所でくり返されないように望んでいる。

問 ③ 7月10日の見本市で、日本海沿岸の12県の広域姉妹提携について日本側から話が出る予定だったが、それはやらないのか。

答 ④ 実際、県知事から広域姉妹関係を結ぼうという提案があった。具体的な問題をソ連側で聞いたとき、準備中だという返事をもらった。広い広域姉妹関係は効果がうすいのではないか。広域姉妹関係は複雑だし困難だとみている。

われわれは代表の相互交換によって友好関係を深めたい。

問 ⑤ この次、来年どうするかという話はなかったか。

答 ⑥ われわれは、知事会との交流が発展し、継続すると考えている。

問 ⑦ 来年どうするか。

答 ⑧ 実際問題として、具体的検討はしていない。だが、われわれの間では、伝統的なものが引き継がれ、交流も一貫して続けたいと願っている。

る。

(2時20分記者会見終了)

ソ連知事一行は、記者会見のあと、買物、面会等をしてから午後6時32分ハイヤーでホテルを出発、同40分東京駅着。「竹の間」で少憩したのち、7時発のひかり79号で離京した。ホームでは各県東京事務所長、知事会事務局幹部多数が見送った。午後10時10分新大阪駅着。

駅長、助役、ソ連館儀典長、府警等の出迎えを受けた。直ちに府庁さしむけのバスで大阪コクサイホテルに向った。

6日9日(火)

ソ連知事団帰国

午前10時40分、府庁さしむけのバスで大阪コクサイホテルを出発。玄関にて万博ソ連政府代表、大阪府儀典長の見送りを受けた。

11時すぎ、中央突堤岸ペキ2番前に到着。船客待合室で最後のお別れパーティーが行なわれた。見送りに参加したのは金井兵庫県知事、中川福井県知事、田中大阪府副知事、宮内全国知事会事務局長、小川渉外部長、フエドトフ・ソ連館儀典長、コトフ同渉外主任、パノフ・ソ連大使館員、セミヨーノフ・ソ連館行政官、堀江通訳等であった。ビールで乾杯して、歓談した。

12時近くなって、オルジョニキーゼ号に乗船。テープを投げ合って別れを惜しんだ。

(付)

ソ 連 知 事 団 名 簿

1. 団長 A. K. CHYORNY A. K. チョルヌイ
ハバロフスク地方執行委員会議長（知事）（1921. 2. 23 生）

2. 団員 N. B. PIVOVAROV N. B. ピヴォヴァロフ
ブリヤート自治共和国首相 （1912. 5. 9 生）

3. " G. N. BALAKIN G. N. バラキン
沿海地方執行委員会議長 （1916. 5. 生）

4. " Y. A. KRAVCHENOK Y. A. クラフチェンコ
イルクーツク州執行委員会議長 （1922. 11. 11 生）

5. " A. V. SHEVTSOV A. V. シェフツォフ
サハリン州執行委員会議長 （1916. 8. 14 生）

6. " N. I. DMITRIEV N. I. ドミトリエフ
チタ州執行委員会議長 （1922. 11. 23 生）

7. 随員 V. T. FEDYAINOV V. T. フェジャイノフ
ソ連科学アカデミー東洋学研究所員 （1935. 11. 8 生）